

鹿乗川関連遺跡群 発掘調査だより

(公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

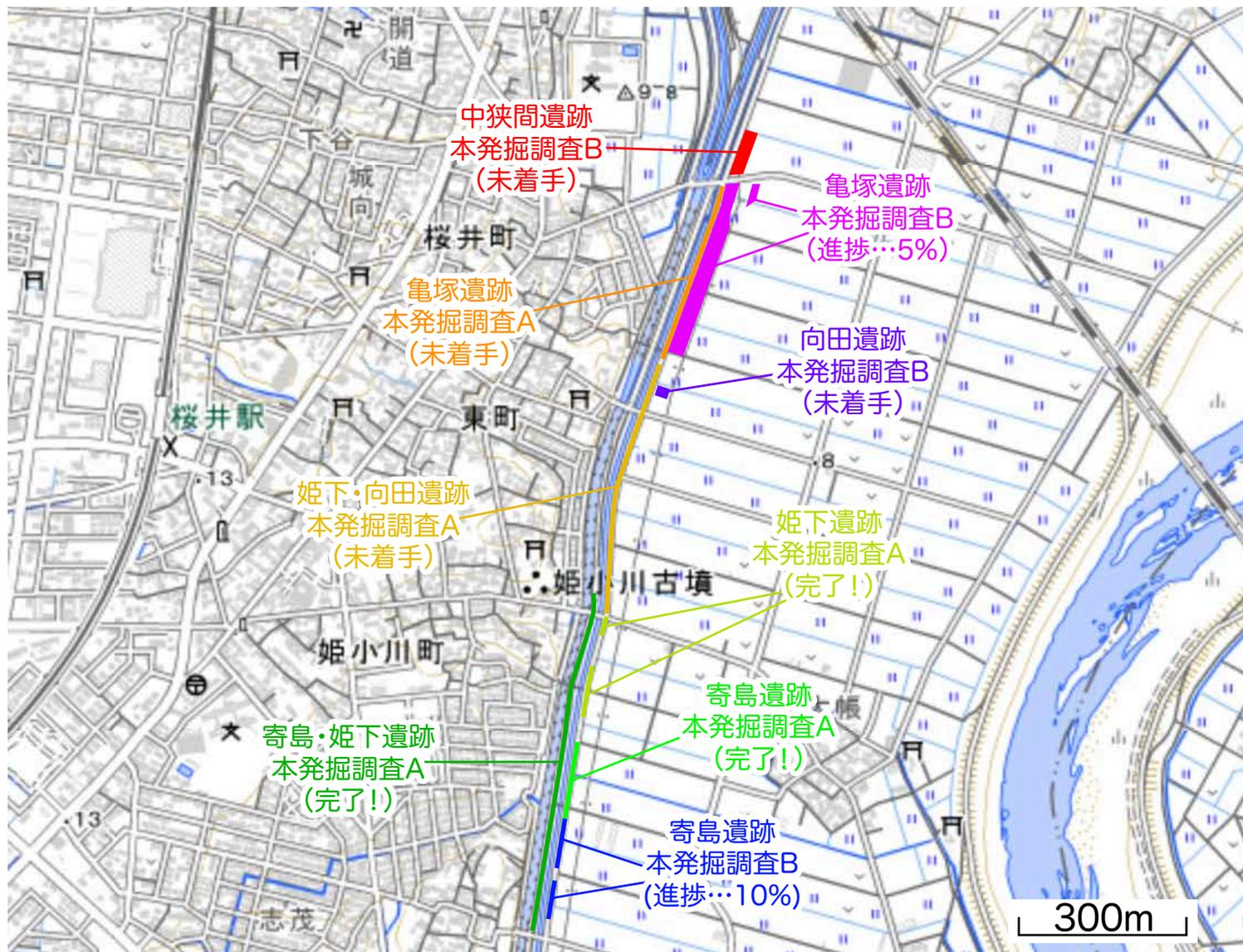
今年度も発掘調査が始まりました！

鹿乗川の河川改修工事に伴う発掘調査は、平成10年に最初の範囲確認調査が行われてから、20年以上に渡って実施されてきました。

今年度に調査するのは、鹿乗川の東側沿い、加美橋の北から大橋付近までの南北約1.4km、範囲にして5,550㎡です。

6月30日現在、寄島遺跡、姫下遺跡、寄島・姫下遺跡の本発掘調査A^{*1}が完了し、寄島遺跡と亀塚遺跡の本発掘調査B^{*2}が行われています。

※1 詳細な遺跡の範囲を確かめるための試掘調査 ※2 全面調査



今年度に調査を行う遺跡 (国土地理院地図より作成)



寄島・姫下遺跡の本発掘調査 A の様子



亀塚遺跡の本発掘調査 B の様子



亀塚遺跡の出土遺物の一部

◀安全上、深くは掘り下げられなかったものの、土器や陶磁器が少量出土しました。

また、昭和 50 年代に中堤防が造られた際の盛土の下に、より古い時代の造成土も確認され、これは鹿乗川の昔の堤防の土という可能性も考えられています。

◀亀塚遺跡では重機を使った地表近くの土の除去が一段落し、人力での調査が始まりました。

現在調査しているのは鎌倉時代～江戸時代ごろの溝ですが、古い時代の土を掘り起こしているため、弥生～古墳時代の土器も出土します。

◀左の 1 点は右の 4 点に比べてやや古い、弥生時代後期ごろの^{たかつき}高坏の破片です。

右は弥生時代の末～古墳時代初めのころのもので、高坏の^{きゃくぶ}脚部（左上）・^{つきぶ}坏部（右下）、^{だいつきがめ}台付甕の^{だいぶ}台部（右上）のほか、用途がはっきりしない球形土製品（左下）と呼ばれるものも出土しています。

鹿乗川関連遺跡群 発掘調査だより 令和 5 年度第 1 号 令和 5 年 6 月 30 日

編集・発行 (公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

TEL : 0567-67-4163 (担当 : 池本・河嶋)

公式サイト : <http://www.maibun.com/>

印刷・協力 株式会社イビソク (現場代理人連絡先 : 080-8250-7393 (小林))